



NO. 10  
吹田市立豊津西中学校  
令和3(2021)年  
2月15日 発行

学校目標 教育目標	《人格の形成をめざす》
	《社会人としての資質を最大限に発揮させる》
	《心身ともに健康な国民の育成をめざす》

# 学校アンケートの結果

学校アンケートの集計ができましたのでお知らせいたします。生徒のアンケートを表面に、保護者のそれを裏面に掲載しています。学校アンケートの結果をもとに今後より良い学校となるよう取り組みを進めてまいりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

## 生徒アンケート結果

■とてもそう思う □少しそう思う ▨あまり思わない □全く思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(1) 学校生活・教育活動について

(2) 数学・英語の分割授業及びチームティーチングの授業について

☆生徒データから

- ・「とてもそう思う」「少しそう思う」を合計した肯定的意見が 70% を超えるのは 25 項目中 21 項目である。(昨年度は 20 項目)
- ・例年と同様の傾向であるが、「部活動に積極的に取り組む」「学校に行くのが楽しい」「体育大会は楽しく行えるように工夫されている」の割合が高く、学校における新しい生活様式の中でクラブや学校行事が生徒たちの間で定着しているといえる。

- ・数学・英語の分割授業・チームティーチングについては全 6 項目とも 70%以上の肯定的意見があり、これらの授業の有用性を感じていることがうかがえる。
- ・「授業はわかりやすい」「授業は楽しい」に対する肯定的意見の割合は昨年度に比較して増加傾向にある。授業改革に取り組みが少しずつ表れている。今後、さらなる取り組みを進め、わかりやすい楽しい授業の構築に努める。

- ・(先生は)「生徒の意見を聞いてくれる」「学習で自分が努力したことを認めてくれる」「困ったことに真剣に対応してくれる」に関しては肯定的意見が 90%以上となっており、生徒たちの自己肯定感を高める取り組みの成果を認めつつ、今後さらなる取り組みを追求する。

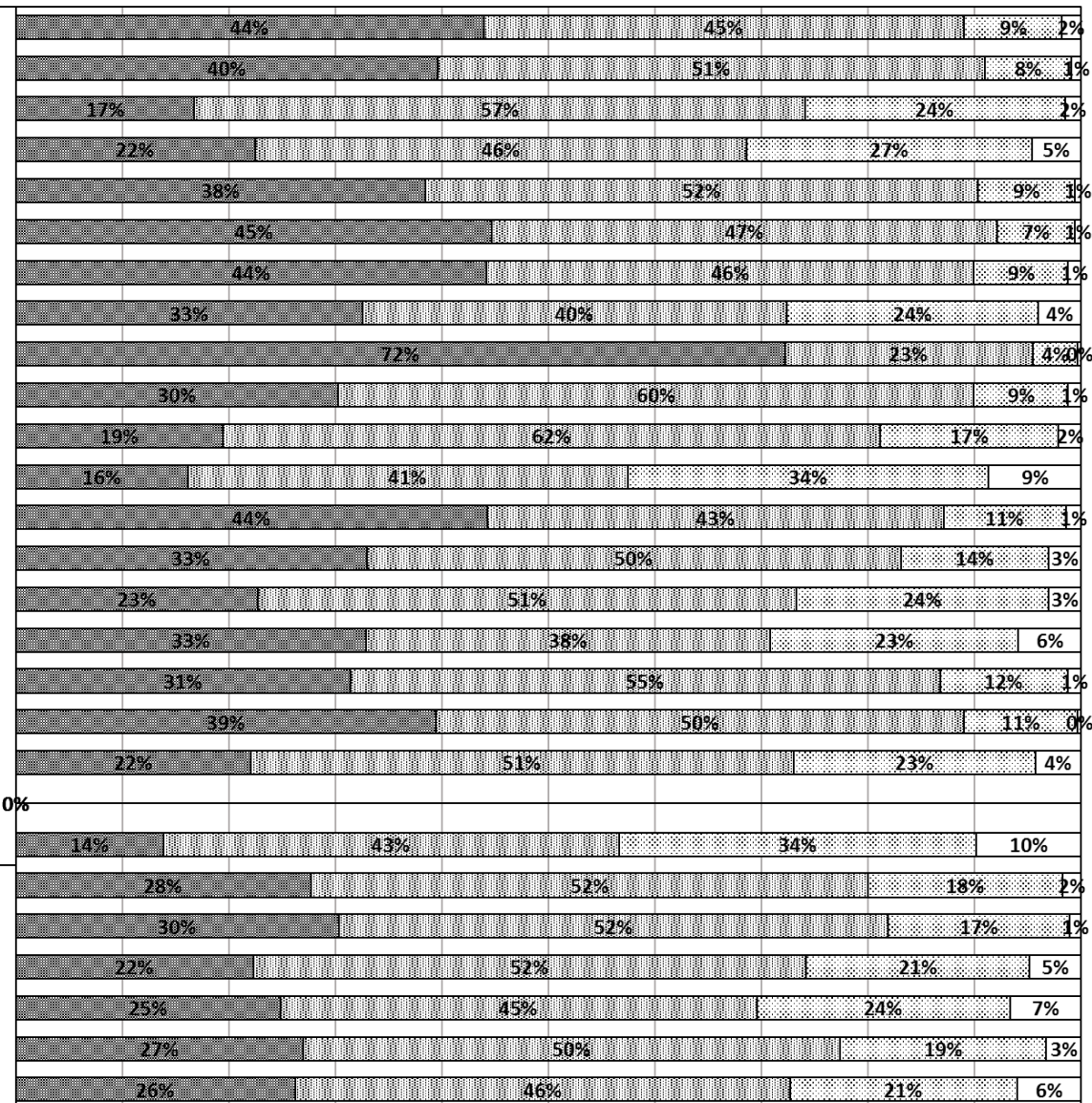
# 保護者アンケート結果

■ とてもそう思う ■ 少しそう思う ■ あまり思わない □ 全く思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

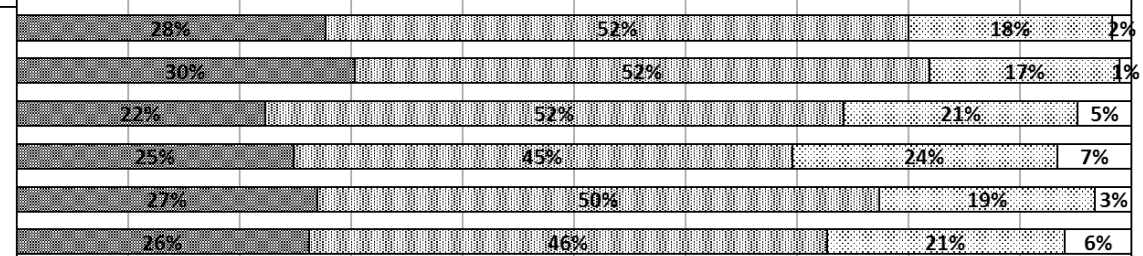
(1) 学校生活・教育活動について

- 1 子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。
- 2 先生は、生徒の意見を聞いてくれる。
- 3 子どもは、授業がわかりやすいと言っている。
- 4 子どもは、授業が楽しいと言っている。
- 5 先生は、学習で努力したことを認めてくれる。
- 6 評価の仕方や基準について、事前に示されている。
- 7 先生は、いじめなど子どもたちが困っていることについて真剣に対応してくれる。
- 8 子どもは相談できる先生がいると言っている。
- 9 子どもは、学校に仲の良い友達がいると言っている。
- 10 学校では、生活規律（ルール）や学習規律などの基本的な生活習慣の確立に力を入れている。
- 11 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。
- 12 学校は、進路についての情報を知らせてくれる。
- 13 学年発表会は楽しく行えるように工夫されている。(3年のみ実施)
- 14 体育大会は楽しく行えるように工夫されている。
- 15 生徒会活動は活発である。
- 16 この学校の部活動は活発である。
- 17 学校は、命の大切さや社会のルールについて子どもに学ばせている。
- 18 学校で事件・火災がおこった場合どう行動したら良いか、子どもに知らされている。
- 19 学校は、保護者や地域の人々と協力して、清掃や作業、学習などをする機会を設けている。
- 20 授業や部活動などを通して、学校や幼稚園・保育園などと交流することがある。(今年度は未実施)
- 21 学校は、基礎学級や支援学校と通常の学級が交流する機会を設けている。



(2) 数学・英語の分割授業及びチームティーチングの授業について

- 1 授業がわかりやすい。
- 2 ていねいに教えてもらえる。
- 3 授業は自分のペースにあっている。
- 4 あきらめずに問題を解くようになった。
- 5 コース別（数学・英語）の学習はわかりやすい。
- 6 積極的に授業に取り組むようになった。



## ☆保護者データから

- ・「とてもそう思う」「少しそう思う」を合計した肯定的意見が 70%を超えるのは 27 項目中 23 項目である。(昨年度は 21 項目)
- ・「学校に行くのが楽しい」「仲の良い友達がいる」「体育大会は楽しい。」に関しては肯定的意見の割合が高く、生徒データと同様の傾向である。
- ・(先生は)「生徒の意見を聞いてくれる」「学習で努力したことを認めてくれる」「困っていることに真剣に対応してくれる」については生徒データと同様肯定的意見が非常に高く、日常の学校教育活動に関し、ご家庭でもお子様たちとお話し合いをされ、ご理解をいただいていると感謝いたします。

## ☆保護者データと生徒データの相関性

- ・「評価の仕方や基準などが示されている」「火災などが起こった場合の行動について知らされている」などは保護者・生徒ともに肯定的意見が多く、相関性は高い。
- ・「保護者や地域の人々と協力しての活動」「基礎学級や支援学校と通常学級との交流」についてはコロナ禍の中で、保護者の肯定的意見が例年よりも減少しているが、生徒のそれは昨年と同様に 15%~20%低い数値が出ている。これらの活動に際しては、その意義や目的について、生徒に理解をさせる方向性を学校全体として打ち出すことが必要である。